

一般社団法人 岩手県産業資源循環協会

TEL019-625-2201 FAX019-624-1920

URL : <http://www.iwatesanpai.or.jp>



## 県への要望



## 安全衛生研修会

2月16日(水)、「建設リサイクルの推進」について、濱田会長から県に要望書を提出しました(左:環境生活部 佐々木技監、右:県土整備部 加藤技監)。

2月16日(水)にオンライン方式で管理監督者等22名が受講しました。

本業界では、多様な作業等に起因して他業界よりも労働災害の頻度が高いことから、全産連の労働災害防止計画に掲げられた取組を重点的に学習しました。

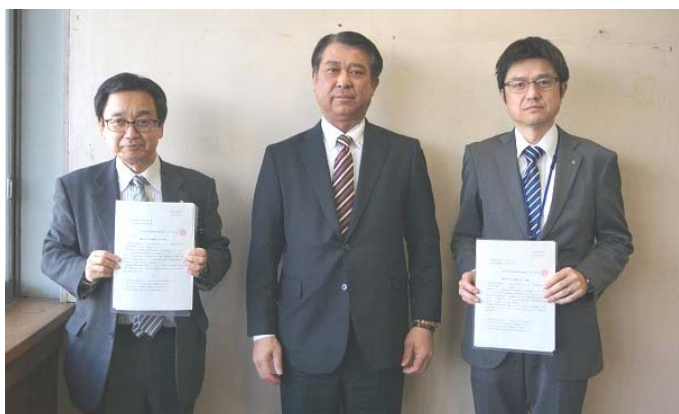
### 講義1 モデル安全衛生規程の作成と運用

青年部会安全衛生普及委員 藤原真実氏

### 講義2 リスクアセスメントの基本と実践

中央労働災害防止協会

安全衛生管理士 昆野良久氏



建設副産物の循環利用では、コンクリート殻やアスファルト殻が代表例です。一方、汚泥は基礎地盤等の資材に転用されますが、積極的な採択に至っておらず再生処理後の保管が長期化しています。

今回の要望では、汚泥発生量の約70%が公共工事(うち県45%)に由来することを踏まえて、従来の環境生活部に加えて、事業主体である県土整備部を訪問して4項目の取組強化を求めました。

### 建設リサイクルの推進

- 1 建設業に係る評価等において、再生資材の利用を加点対象とすること。
- 2 公共工事において、再生資材の利用を仕様書等で指示すること。
- 3 民間工事において、再生資材の積極的な利用を啓発すること。
- 4 再生資材の用途及び規格に関する調査研究を実施すること。





# 県央支部研修会

石綿は粉じんの吸入により中皮腫等の重篤な健康障害を引き起こすおそれがあり、環境中で分解等しないため、取扱や処分が厳しく規制されています。

県央支部では、2月24日（木）に講師2名をお招きして、法令の最近改正や留意点を研修しました。

- 1 内容  
アスベスト飛散防止対策の強化
- 2 講師
  - ・岩手県 環境生活部環境保全課  
主任 木村文彦氏
  - ・厚生労働省 盛岡労働基準監督署  
産業安全専門官 大川友和氏
- 3 関係法令  
廃棄物処理法、建設リサイクル法、大気汚染防止法、労働安全衛生法（石綿障害予防規則、じん肺法）
- 4 本年4月施行の規制強化
  - (1) 一定規模以上の解体・改修工事について、着工14日前までに労働基準監督署に届け出ること。
  - (2) 事前調査結果を電子システムで報告すること  
※当日は基本操作をマニュアルで学習



## アドバイザー派遣

2月25日（金）、株ノブタ興業（洋野町）を訪問。

電子マニフェストの運用方法を解説した後、会社PCで操作を実習いただきました。



# JW講習会（R4）

令和4年度の開催計画が3月22日（火）9:00に公表されます。本県会場は県外受験者が多く、すぐに満員になります。早めに申し込んでください。

- 1 受付開始  
4月1日（金）9:00～
- 2 公表と受付 ※いずれもJWホームページのみ  
<https://www.jwnet.or.jp/workshop/index.html>
- 3 受講方法
  - (1) 講義 自社等からオンライン方式で視聴
  - (2) 試験 各会場で筆記試験

## アンケートにご協力を！

会員サービス向上のため、IT活用による迅速で細やかな情報提供に取り組んでいます。

ホームページの改善、ペーパーレス化等について、お手数ですが、皆様の御意見を別紙調査票により3月18日（金）までにお知らせください。



## 事務局便り

### 【3月行事予定】

- 上旬 総務委員会（令和4年度計画等）
- 中旬 育成センター運営委員会（Ⅱ）
- 中旬 理事会（Ⅱ）
- 22日（火） JW許可等講習会の日程公表

### 【4月行事予定】

- 4月1日（金）～5月6日（金）  
令和4年度格付け審査の申請受付

### ◆編集後記◆

記録的な寒冷と降雪が一段落して、穏やかな春の日差しです。本県のコロナ禍は第6波が長引いていますが、3回目のワクチンも始まりました。健康第一で新年度を迎えてください。

今月の一口メモ 多くの工事が完工時期を迎える3月は「建設業年度末労働災害防止強調月間」です。本業界も、労働災害防止運動を展開して頑張りましょう。